

Medi-Wave^{メディウエーブ}ひょうご

For medical students magazine

spring

新年度号

5月8日～9日に滋賀県にてメディカフェが開催されました。
新歓企画として行われ、新1年生も多数参加しました。
今回のテーマは「医療者と平和～いのちの専門家として～」。
自衛隊の演習場の見学や、平和を願う活動に参加している医師から、
「なぜ自分が平和活動に取り組んでいるのか」をお話ししていただきました。参加した学生や医師・職員も真剣に意見を交わしました。



CONTENTS

- 2 p シリーズ 医療現場は今！特別編
ろっぽう診療所所長 藤井医師へのインタビュー
- 6 p リレーエッセイ 第15回
尼崎医療生協病院 西本 広樹 医師
- 7 p 医学生レポート
メディカフェ企画

- 8 p 海外医学部レポート
- 9 p 兵庫民医連 医学生センター紹介
- 10 p 読者のつ・ぶ・や・き…。
- 11 p 大人気！cross-words パズル
- 12 p 奨学金制度のご案内 /

かんたん *Cooking*

シリーズ 医療現場は今！特別編

『但馬の地域と歩むろっぽう診療所と藤井医師』

コウノトリで有名な豊岡市は、城崎温泉も間近な兵庫県北部の町です。この田舎町にも民医連の診療所があります。たじま医療生協ろっぽう診療所です。大阪環状線の内側に匹敵する広大な診療エリアを、元気に往診していくのは藤井医師です。今月は「医療現場は今！特別編」と題して、そんなろっぽう診療所の医療と藤井医師についてインタビューしました。

聞き手 兵庫民医連医学生担当 福島千尋・富永訓志

ろっぽう診療所 設立の経緯

担当者（以下担） ろっぽう診療所設立の経緯やこれまでの歴史などを教えてください。

藤井先生（以下藤） ろっぽう診療所は1996年に設立して、今年で15年を迎えます。私がここに着任したのは2年前です。

設立までの歴史としては、1974年にこの地方で起きた「八鹿高校事件」がきっかけです。これは公教育への不当な介入を強めていた「部落解放同盟」のメンバーが、それに反対していた八鹿高校の教員に対して監禁・暴行したという事件です。部落解放同盟のこうした糾弾・暴行事件がこのころ頻繁に起きていたために、町の人々は表だって解放同盟に反対できない雰囲気がありました。この事件を批判するデモもありましたが、町の人々はこっそり窓から支援の手を振っていたほどでした。

その時に乱暴を受けた教師が入院しなくてはならなくなったのですが、受け入れようとする医療機関がありませんでした。それで神戸協同病院に入院・治療することになったのです。これをきっかけに、こういうことがあってもちゃんと入院できるように、この地域にも民主的な医療機関をつくる運動が広がりました。それがたじま医療生協・ろっぽう診療所のはじまりです。



但馬地域で家庭医療をになう

担: 但馬という地域における医療の状況はどうでしょうか。

藤: この診療所のエリアは、周囲に見える山々までのところは全部そうです。峠を越えて行くところも少しあります。面積ではほぼ大阪環状線の内側程度です。その範囲で往診にも行きます。

最近城崎や出石と合併して新しい豊岡市になりましたが、面積がすごく広大です。人口は8万9000人、産業はかばん生産や農業、観光です。かばんはもともと柳行李をつくっていたのが発展したものです。農業はいまやそれで生活するというよりは土地を守るためにしかなりません。そんなわけで医療もこの地域の雇用促進に貢献しています。豊岡病院組合には従業員数が1000人程度います。診療エリアが広く、医療機関のある町中とそれ以外とで二分化しているのがこの地域の特徴です。



兵庫県北部も医師不足は深刻で、病院が成り立たずに診療所だけにしようとする動きがあります。このあたりでは一つの市町村では病院を建てられないので、いくつかの自治体で「公立病院組合」をつくっています。一方で県は病院を建てようとしないので、結局八鹿病院と豊岡病院しかないのです。それぞれの病院には医師が豊岡病院は100人、八鹿病院は30人います。医療センター化したところもあるのですが、そういうところでは医師は3人しかいません。もちろんこうした病院で働く勤務医の疲弊も問題です。

受診してから急病でないと診断されたら、医療費が3400円加算されることにもなりました。これでは安心して受診できません。

担: そうした中でろっぽう診療所が果たしている役割は何でしょう。

藤: ろっぽう診療所は二次・三次の対応はできないので、一次医療の役割を担っています。特に往診や訪問看護や訪問介護といった在宅医療・福祉に力をいれています。往診は50弱行っています。他の診療所ではせいぜい10件程度ですが、それはたいてい医師一人で往診をしているからです。但馬地域で在宅を診ているのはろっぽうが一番件数が多いです。

私はもともと小児科医だったので、但馬地域の病院の小児科で休日の応援に来てほしいと言われましたが、それは勘弁してもらって、かわりに在宅でがんばるからと言っています。訪問診療の希望は多いですが、それにこたえる医療機関がない。訪問看護ステーションも数カ所ありますが、民間は当法人の「えがお」だけです。24時間対応しているのもここだけです。そんなわけで、訪問看護も他の医療機関からの依頼が今や半数以上になっています。

豊岡病院や八鹿病院との連携で言えば、それらの病院から「そこまで積極的治療するのはどうか、在宅で診たほうがいいのでは」と言われ、相談に来られる時があります。入院で環境が変わるとパニックになったり、認知症が進んでしまったりするからですが、家族は入院を希望されることもありますから、難しいことも多いです。

担: たじま医療生協の利用者さん・組合員さんはどうでしょうか。

藤: この診療所は組合員や理事さんが活発に活動されています。原爆症認定でも被爆者相談を企画するなど、職員がむしろ後をついていっている感じです。それに送迎ボランティアもいただいています。午前中に個別送迎をしています。1日平均50人ほどが診療所に来ますが、送迎利用しているのは8人くらいいます。何しろ1時間かけて車で来られる方もおられますし、雪で出にくくなる方もおられます。

担: 先生自身のこれまでにについて教えてください。

藤: もともと小児科医だったのですが、尼崎医療生協病院小児科から本田診療所に行きました。診療所に行って、往診も初めてしました。でも内科の研修はありませんでしたが、生協病院の医師からアドバイスをもらいながら進めていきました。0歳から103歳まで、小児科の分娩立ち合いから訪問診療まで幅広く診ることになりました。そして本田診療所は「家庭医の研修診療所」という位置づけになりました。資格があるわけではないけど、高松先生からは「資格はなくても、やっていることは家庭医です」と言われ、気を強くしました。

ろっぽう診療所で但馬での家庭医療を展開したいと考えています。豊岡市内では「総合医療」を言う人はいますが、病気の治療はそれでいいけど、保健・予防・介護・福祉のことまで考えると、「家庭医療」だと思います。



薬剤師から医師へ 藤井医師のこれまで

担: 先生はどのようにして医者になったのですか。

藤: 医学部には社会人入学で入ったんです。実は最初は薬剤師になって神戸協同病院で働いていました。薬剤師の病棟活動をやっているところは少なく、それがしたかったのです。緊急時には心臓マッサージも体験したことがあります。薬剤師は31歳になるまでの8年間していました。

そうやって医師といっしょに活動しているうちに、医師になろうと思いはじめたのです。でも医学部に新たに入り直すのは大変だと思っていました。その時薬学部を留年していた友人で、やはり医学部に入り直した人がいて、それを見ていたら自分でもやれるのではという気になりました。それで二人目の子どもができた時に薬剤師を退職して医学部入学の準備をしました。2年間で何とか入学できました。

担: 医学生の時どんな学生でしたか。

藤: 大学の授業では教養の授業が楽しかったですね。普通に入学した学生は「教養は無駄」と言っていましたけど。例えば英文学の授業で「死の文学」という講義を受けました。聖書や仏典、それからいろんな文学者がテキストの中でどのように死を扱ったかという授業です。「キリスト教の死生観」等です。その頃は死というのは医学の敗北のように思われていました。それから英語の先生は宣教師で、聖書の購読を英語だけでやるという会がありました。

学生だけでなく、社会人の方も参加していました。専門科目では、覚えないといけないことが多くて、おもしろくなかったですね。

担: 小児科を選ばれた理由は何でしょうか。

藤: 県連の状況を見て、小児科を選びました。外科は体力の問題があって、手先がふるえてくるとダメですから。

担: 民医連との関わりは？

藤: 薬学生の時に調剤助手を民医連の東大阪医療生協の前身の蛇草病院でやっていました。そのころは病院に勤めていた事務の方が住んでいたアパートに居候していました。

医学部に入ったら奨学生になりましたが、2人の幼児持ちでしたから、奨学生としての活動はあまり積極的ではなかったと思います。夏・冬に実習に行っていました。農村医学講座が長野県の佐久総合病院で催されていて、若槻先生の講義を聴く機会がありました。同法人の小海診療所に1週間滞在しました。清里や野辺山も近く、高原野菜の収穫農家が多く、朝6時から胃カメラ検診をしていました。早朝に胃カメラ検診をしてから農作業に行く。土地の人の生活サイクルに合わせてそうしているわけです。

現在、八鹿病院に佐久総合病院出身の先生がおられます。医ゼミに行ったのはむしろ医師になってからです。

医学生 大歓迎です

担: ろっぽう診療所はこれまでも研修医や医学生から高校生の医師体験まで積極的に受け入れて、医師の養成に力を入れていると思います。

藤: 来られた研修医がリフレッシュできたらいいと思っています。この地域には民医連以外の勉強会もあるのでそこに行ってもらって、カンファに参加したりもします。私がしている仕事や活動に同行してもらおうという感じです。

担: 医学生にメッセージを。

藤: 専門的な医学だけでなく、教養・人生の勉強もよくしていただきたいと思います。

私は年をとっているせいか、患者さんとのトラブルがあまりありません。若いと思われるだけでトラブルが起きてしまいます。それも一つの勉強だと思っています。ろっぽう診療所の実習では往診や介護、訪問看護、保健予防活動など、病院ではできないいろんな体験ができると思います。他の医療機関での学習会・連携会議などがあれば、同行してもらいます。去年の春にも福井大学の学生さんに来ていただきました。うれしいですね。



医学生のみなさん！夏休みを利用して、ぜひ豊岡へ。地域医療を体験してください！



リレー・エッセイ



～家庭医・総合医の徒然日記～第15回

尼崎医療生協病院 西本 広樹 医師（家庭医専攻医）

プロフィール

05年 山形大学医学部卒業後、尼崎医療生協病院にて初期研修開始。

06年 東神戸病院にて初期研修（選択研修）

07年 家庭医研修プログラム（姫路コース）姫路共立病院で内科研修開始。

08年 家庭医研修プログラム（阪神コース）尼崎医療生協病院で
内科・小児科・緩和ケア研修。

09年 本田診療所で診療所研修，3月で家庭医療後期研修終了。

10年 在宅医療フェローシップ（尼崎）本田診療所，萌クリニックで
研修中。



3月に家庭医療後期研修3年間が終了し、先日、その修了式を行いました。3年間の振り返りを行い、本当にたくさんの人に支えられて過ごしてきたことを思い出し、涙が出そうになりました。

そもそも家庭医になろうと思ったのが学生時代だったのですが、その時の気持ちを、振り返りをするときに思い出すことができました。

高校生や医学生が見学に来られた時にお話をする機会があります。若い人と話すことで高校時代、大学時代のことを思い出します。高校生、大学生から「高校時代、大学時代にしておいた方がいいことはなんですか？」と質問されました。多くの大人は勉強しろと言うと思います。もしくは遊べと言うかもしれません。でも、僕は当時そのように言われたとしてもそのようにしたくありませんでした。好きなものに出会うとワクワクしてくるので出会った瞬間「これだ！」と燃えてきます。

僕が学生時代に燃えていたもの、それはベンチャー企業の社長のテープ、CD、DVD、本などです。ベンチャー企業の社長たちは、はじめはお金が目的の人もありますが、徐々に世の中をより良いものにしてようと考え始めます。そして、国がジャマしてこようとしても戦い、最後には素晴らしいサービスを世の中に広めます。その熱い思いを、肉声で聞くことでますます若い学生だった僕は燃えてきました。完全にはまっていた。その延長で、家庭医療にはまりました。これで世の中は変わるはず。より良い方向に。



◆家庭医とは

疾病臓器・患者の性別・年齢・その他医学的技術の専門性にとらわれず、患者ならびに地域住民の健康問題を幅広く担当する医療分野（家庭医療）に従事する医師。



Medi-k-affe.com 2010 近畿版 医学生がつどいしレポート

「メディカフェプレ企画を振り返って」

(神戸協同病院 担当者 Y)

2010年3月25日(木)に神戸市で行った「メディカフェプレ企画」の報告をさせていただきます。まず「メディカフェって何？」という方がほとんどだと思います。簡単に説明しますと、メディカフェとは、『近畿の民医連奨学生・医学生が集い学習し、交流する場』です。

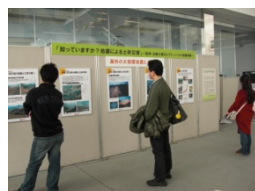
今回のテーマは「災害医療～医療現場からみた阪神大震災～」参加者は全体で22名を数えました。まずは「人と防災未来センター」でフィールドワークを行いました。その後、神戸協同病院に移動し外科の石川靖二医師の講演「震災が教えてくれたこと」を聞き、グループディスカッションに移りました。その後復興した長田区のフィールドワークを行いました。

参加学生は近畿各地から集まっており、15年前の震災当時は幼かったこともあって、震災の記憶はほとんどありません。「人と防災未来センター」では、見たことのない映像で当時の被害状況を体感しました。他にも証言集や地域の活動記録を目のあたりにすることで、より生々しく震災を捉え、深く災害医療について考えることができたようです。



石川靖二医師の講演では、現場で働いた医師として当時の状況をリアルにお話しいただきました。当時集まったボランティアの方々の活躍、全国の民医連からの支援、災害時には地域の連携がいかに大切なものか教えていただきました。震災が起きて一番困ったことは、水がないということ。神戸協同病院には透析室があり、1日に使う水の量は数tになります。震災によってライフラインを断られた病院。職員は患者さんの命を守るため、9リットルのポリタンクを持って神戸大学医学部キャンパスの山頂の貯水場を何往復もしたそうです。講演後には「何が地域のニーズなのかを知る・考える」「医療人だけが命を救ったわけではない」「医学生もできることがいっぱいある」等の学生の感想がよせられ、緊急時には日常が試されるということを学んだようです。

長田区フィールドワークは、震災後の都市計画の問題点をテーマに行われました。15年たった今、震災の爪痕は見た目にはわかりません。マンションが建ち、復興したように見えても、色々な問題が隠されていることを学びました。長田区は神戸市で震災以降、唯一人口が回復していない区です。長田区の復興事業・神戸市の税金の使い方の問題点を現場で体験することができました。最後に鉄人28号、三国志で盛り上がる長田の街も見学し、企画を終了しました。



Medi-K-affe.comとは？
Medi-K-affe.(メディカフェ)のKは「kansai(関西)」のKのことで、関西の大学の医学生や関西出身の医学生が医療をよりよい方向に affect していこうという意味を込めて名付けられました。

SSくんのEUブルガリア ブレーベン医科大学在校生レポート

EU加盟国ブルガリアブレーベン医科大学に在籍する医学生のレポート。ではどうぞ！

みなさん、こんにちは。まだまだ寒いブルガリアですが、日本はどうでしょうか。今回は3年生前期の授業紹介、友人たちと一緒に日本食を作った週末についてレポートしようと思います。

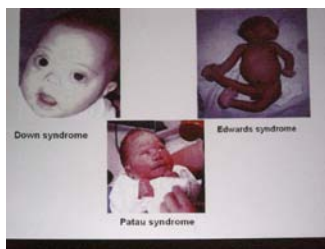
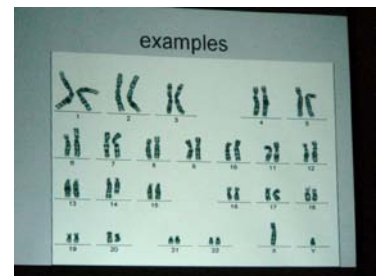
3年生前期の授業紹介

この2月から、晴れて3年生となりました。(ブレーベン医科大学のinternational courseは2月が学年の始まりです。)海外医学生としての生活も徐々に慣れてきて、なんとかここまで順調にきています。早速ですが、今回のレポートでは、3年生前期の授業の一つである「医療遺伝学」について紹介したいと思います。



授業は、スライドを中心にした講義形式です。現在は、遺伝病について学んでいます。先生は、これまでの学年同様、大変優しく、分からなければいつでも聞きに来なさいというスタンスです。予習を非常に大切にしている科目で、事前にもらうプリント類を熟読しておかないと怒られます。毎回毎回かなり多くの量のコピーを手渡されるのでびっくりしますが、授業の進度が大変早いので先生がおっしゃるとおり予習をしておかないと授業についていけません。定期的に小テストも実施されるので、理解の確認としては大変役立ちます。

みなさんも見た経験があまりありません。右横のスライドは、人の染色体です。さきほど述べた通り、現在学んでいるのが遺伝子の病気なので、このようなスライドを大量にみていきます。この遺伝子のどの部分がおかしいのか、どのような病気にかかるのか、病気に罹った患者さんの外見的特徴はどのようにあらわれるか、その治療方法は、など、細かく学んでいきます。



基礎科目をやっていた頃から考えると、病気の事をどんどん学んでいる現在は、医学の勉強をしていることを強く感じます。勉強自体は大変なのですが、好きなことを学んでいるわけですから、すごくわくわくします。左のスライドでは、遺伝病の身体的特徴が紹介されています。一番左のダウン症は、遺伝病の中でも一番有名な病気です。

つい先日、学年を超えて日本人医学生5人ほどで日本食を作りました。メニューは、すき焼き風煮物、焼き肉、ごはんです。日本では簡単に手に入る食材や調味料も、こちらでは難しかったりすることが多々あります。ですから、こうやって日本料理をみんなでわいわい一緒に食べると、元気がでます。日々の勉強の辛さも忘れ、この日はゆっくり、深夜まで話しました。さあ、また明日から頑張ろうかな！

新たな学年のスタート。今年ブレーベン医科大学に来た新生も、これまでいる在学生も、みんな順調に進級出来ますように。

友人たちと一緒に日本食を作った週末



現在、ブレーベン医科大学に通うSSくんは異国の地で勉学に励んでいます。

続々とレポートが届いていますので皆さん乞うご期待！



兵庫県民医連『医学生センター』紹介

「兵庫県民医連医学生センター」とは、医学生の学びを援助し、医学生が交流するなど、兵庫県民医連が医学生の学生生活を応援するためにつくった、学生のための事務所です。

パソコン、インターネット環境、コピー機、医学書等の設備などを設置しています。定期的に「ランチタイムミーティング」や「ディナータイムミーティング」を開催し、学生同士が医療情勢について語り合ったり、学んだりしています。

現役医師を招いて、定期的な学習会も開催しています。医学生と民医連をつなぐ「医学生センター」に、是非一度足を運んでみて下さい！！

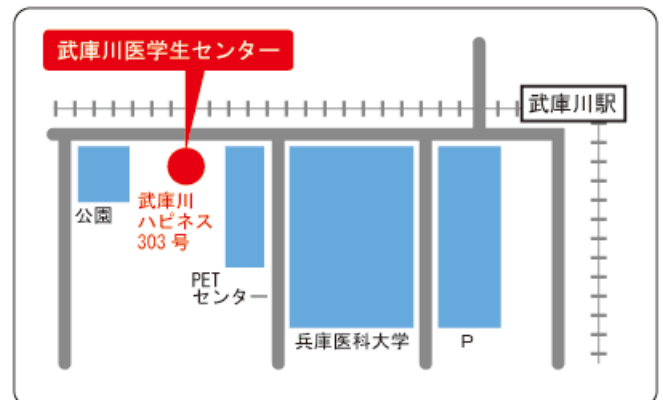


大倉山医学生センター



神戸市兵庫区荒田長 2-1 楠六パレスビル 304
TEL&FAX : 078-578-6373

武庫川医学生センター



西宮市池開町 3-8 武庫川ハピネス 303
TEL&FAX : 0798-40-3155

読者の つ・ぶ・や・き

(前号のクイズの解答「日本に基地入らない」) ←僕もそう思います。

ペンネーム：スクラムハーフ

ああ、悲しき浪人生・・・。

ペンネーム：サクラ

何回目でも、春がくる頃の暖かさは心地いいなーと思いつつ、年、重ねてます(笑)、確実に。

ペンネーム：すだち

ポリクリの1年間も、もう終わりです。1日1日は長かった気がしたのに、思い返すとあつというまでした。

ペンネーム：のん

教科書買う為に、春休みもバイトを頑張ります。

ペンネーム：poco a poco

これから大学受験に立ち向かっていくと思うと、少し不安になりますね。

ペンネーム：ぴ〜

頑張り実らず、弟が浪人生に！！

僕の国試、卒試とで今年はダブル受験生！！！！

ペンネーム：黒ムース

たくさんの方の投稿いつもありがとうございます。どんな事柄でも結構ですので、どんどんつぶやいてください。お待ちしております〜す(^0^)(編集者)

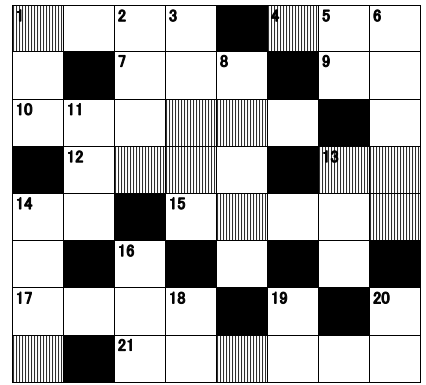
Medi-Wave CROSS-WORDS

新生活にはもう慣れたでしょうか。
ゴールデンウィークも終わり、もうすぐ
梅雨の季節がやってきます。

雨で外出が出来ない時は、お家でクロ
スワードに挑戦してみてください。
お便りも合わせて募集中です！



＝答え＝



網掛けの12文字を並べ替えると答えになります。
正解者には抽選で図書カードを進呈！！
同封のハガキに答えを書いて送って下さいネ。

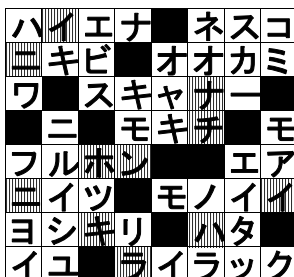
→ よこのカギ

- 漢字では「貝独楽」と書きます。元々はバイ貝に鉛を入れて回した子どもたちのおもちゃでした
- 1959年制作、グリゴリー・チュフライ監督のソ連映画の名作「○○○の休暇」
- 相撲取り。
- 「犬が○○向きゃ尾は東」
- 大阪府南河内郡千早赤阪村の金剛山中腹にあった山城。1332年、楠木正成が築城。
- 映画や芝居などの悪人の役。敵役（かたきやく）。
- 「アポイントメント」の略。
- だけでなく野菜も食べなくちゃ。
- 江戸時代、大名の領国にいて、主君が参勤交代で江戸にいる間留守を預かった家老。
- インターネットの入り口または玄関口に相当する、商用のウェブサイトのこと。○○○○サイト。
- 仏教用語で、地と水と火と風。万物を構成する四つの元素。



↓ たてのカギ

- 講演や駅の待合室にありますね。
- 初詣でお賽銭。○○○○あるかな？
- 容器に巻き込んでおき、使用時に引き出して用いるテープ状の
- タラバ、ズワイ、毛・・・と言えは。
- 現存する日本最古の医書。984（永観2）年に成立。丹波康頼が編纂。全30巻。
- 自分の技能によって物を作ることを職業とする人。大工・左官・表具師など。
- しっかりとつかむこと。しっかりと理解すること。
- ユリ科の多年生の多肉植物の総称。葉は厚く、ぎざぎざがあ
- 佐渡でのトキの人工ふ化が着々と成果を挙げています。トキの学名はニッポニア・○○○○。
- 漢字では「廳」。
- 外出して家にいないこと。
- 最近、グルメに注目されているデバ○○。
- 心のもちかた。特に、その広さ。気構え。度量。「○○壮大」



<ヒント>

日本とアメリカの間で締結されており、日本の
基地問題と密接に関係しています。

* 前号の答えは「日本に基地はいらない」でした。

奨学金貸付制度のご案内

奨学生制度の主旨

民医連の奨学金制度は、卒業後、民医連の医療活動に参加しようとする医学生の要望に応じて経済的援助を行うことを目的としています。

制度のあらまし

☑返済の免除

民医連の病院・診療所で貸与期間と同期間勤務された場合、返済が免除されます。

☑奨学生になったら・・・

奨学生は、将来の民医連の医療を担う医師となるため、医学・医療の勉強に励むとともに民医連綱領をはじめ民医連の行っている「患者の立場に立つ医療活動」を学びます。また今の医療をめぐる様々な諸問題を含め、広い視野をもった医師として成長していけるよう幅広い学習に取り組みます。

具体的には、①民医連の病院実習に参加、②奨学生会議に参加、③民医連が主催する学習会への参加、などです。

手続きについて

申請を希望される方は、下記の兵庫民医連・医学生担当までご連絡ください。申請手続き等について説明します。申請書類は所定の申込書・所定の契約書・履歴書などです。



奨学金の月額

1・2年生	50,000円
3・4年生	60,000円
5・6年生	70,000円

兵庫民医連栄養科が薦める

かんたんCooking

※今回のメニューは姫路共立病院 栄養科 山下加世子さんからの薦めです。

4&5月のメニュー

「肉のソテー ～新玉ねぎのソースかけ～」



材料1人分

- ・豚ロースとんかつ用肉・・・1枚
(牛・豚・鶏 どの肉でもおいしい)
- ・新玉ねぎ・・・1個
- ・しめじ茸・・・40g
- ・サラダ油・・・大さじ1 1/2
- ・調味液
しょう油、酢、水・・・各大さじ1
砂糖・・・・・・・・・・小さじ半分
- ・アスパラ・・・2～3本

- ① 新玉ねぎは縦半分に切り、縦に薄切りにする。しめじはいしづきをとり、ばらしておく。
- ② 豚肉は筋切りをし、塩コショウをしておく。
- ③ アスパラは、はかまをとり 適当な長さに切り、茹でるかサッと炒めておく。
- ④ フライパンに油を熱し、豚肉の両面を焼いて火をとおして皿に盛り、アスパラを添える。
- ⑤ フライパンに油を足し、①を入れてしんなりとなるまで5～6分炒める。調味液を加えてひと煮立ちさせ、皿の豚肉にかける。

■発行：兵庫県民主医療機関連合会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7

フリーダイヤル(無料)：0120-404-310 FAX：078-303-7353 Mail：igakusei@hyogo-min.com

大倉山医学生センター Tel&Fax：078-578-6373 武庫川医学生センター Tel&Fax：0798-40-3155